

平成28年度

第2回 阿賀野市入札監視委員会

平成29年3月24日（金）

阿賀野市総務部管財課

平成28年度 第2回 阿賀野市入札監視委員会 会議録

1 日 時 平成29年3月24日（金） 午後2時～午後3時15分

2 場 所 阿賀野市役所 303会議室

3 委 員

入札監視委員 佐伯竜彦委員長、磯部 亘委員、本間康子委員、佐藤哲雄委員

4 傍聴者 2名（報道機関）

5 議 事

開 会

委員長あいさつ

6 議題

（1）期間内の発注状況等報告

- ・期間内の工事総括について（対象期間：平成28年8月～平成29年1月）
- ・発注方式別工事等について（対象期間：平成28年8月～平成29年1月）
- ・指名停止・苦情処理・談合情報対応の状況等について

（対象期間：平成28年8月～平成29年1月）

（2）抽出案件の審議（詳細は別紙のとおり）

- ・制限付一般競争入札 2件
- ・通常指名競争入札 2件

（3）その他

- ・次回抽出委員の選出 笠原尚美委員

「発注状況等報告」

期間内の工事総括について

質疑等なし	
-------	--

発注方式別工事等について

<p>「質問・意見」</p> <p>1 総合評価方式は、特定の工事に対して行われる方式なのか。</p> <p>2 その方式は、予め公告等で周知しているのか。</p> <p>3 入札時点で元請け、下請け関係を構築した業者はいないか。</p>	<p>「回答」</p> <p>全ての工事に対して行うことができるが、総合評価方式の趣旨は「品質の確保」であり、市発注工事の中から担当課と協議の上、今期の消雪パイプ工事を対象とした。</p> <p>今後も総合評価方式を拡大する方針である。</p> <p>2 対象工事は制限付一般競争入札であり、入札公告に総合評価方式である旨を明記し、公募した。</p> <p>3 そのような話はない。</p>
---	---

指名停止・苦情処理・談合情報対応の状況等について

<p>「質問・意見」</p> <p>1 談合情報がないようであるが、水面下でも動きはないと思うか。</p>	<p>「回答」</p> <p>1 情報がない中で、ある・ないの話はできないが、情報があれば適切に調査し、不適切な行為を確認したときは相応の措置を取り、また公取委などに通報する。</p>
---	--

「抽出案件」

制限付一般競争入札 (A) 【2件】

No.	工事番号	工事名	工事種別	請負業者	当初契約金額 (単位：円)	落札率	発注課	入札参加者数
A-7	京支工 第1号	京ヶ瀬支 所耐震補 強・改修 工事	建築	小林・架設工 事佐々木特定 企業体	116,856,000	98.70%	総務課	6
<p>抽出理由</p> <p>入札結果を見ると、最低価格者と最高価格者の差が130万円程であり、1億円を超える工事には価格が拮抗していると思う。その他各社も数十万円の差となっているところを見ると、適正な競争原理が働いているのか疑問に思う。</p> <p>「質問・意見」</p> <p>1 工事名が耐震補強・改修工事となっているが、割合的にはどの部分の工事がウエイトを占めているのか。</p> <p>2 耐震補強の工事概要の説明を求める。 電気設備なども市販品が多ければ価格に差はつかないと思うが内容はどうか。</p>					<p>「回答」</p> <p>入札結果だけを見れば、1億円規模の工事でも最大差130万円程と拮抗しているが、こと応札額については、各社の積算結果であり、発注者として判断はでない。</p> <p>ただ、拮抗の一因として、建築工事の場合は資材や仮設材が多く、積算における市場価格の差が僅少である状況から、結果的に応札額も近接するものと推察する。</p> <p>1 耐震補強工事が全体の4割程を占めている。</p> <p>2 耐震壁を新たに設ける工事。 電気製品などは仕様書等で定めており市販品となっている。</p>			

No.	工事番号	工事名	工事種別	請負業者	当初契約金額 (単位：円)	落札率	発注課	入札参加者数
A-31	生涯工第1号	市立図書館空調設備等更新工事	管	(株)新潟日立	52,920,000	91.71%	生涯学習課	8
<p>抽出理由</p> <p>契約額が高額なため抽出したが、入札結果を見ると入札金額にばらつきがみられるがどう思うか。</p> <p>「質問・意見」</p> <p>1 今回の工事は、空調設備の老朽化によるものなのか。</p> <p>2 地域要件は工種等によって予め決められているものではないのか。</p>					<p>「回答」</p> <p>この工事は、空調・換気設備の入替工事であり、使用される機械設備は工場生産品となる。よって、価格のばらつきで考えられることは、各社、生産コストの差があるものと推察している。</p> <p>また、入札時に各社から提出された内訳書と比較したところ、諸経費にばらつきがあり、現場を承知しているか否かも価格に反映されたものと感じている。</p> <p>結果的に、現在の空調設備設置者であり、メンテナンスも行っている(株)新潟日立が落札したが、2・3・4番札は阿賀野市内の業者となっている。</p> <p>1 市立図書館は平成8年に竣工し、現在20年以上経過している。また、空調設備の寿命は13～15年と言われており、点検等を行った際にも老朽化が進み、機能低下もしているとの報告を受けていたので、今回の工事発注となった。</p> <p>2 案件ごとに競争性の確保や施工実績などを考慮して地域要件を検討している。</p>			

通常指名競争入札 (C) 【2件】

No.	工事番号	工事名	工事種別	請負業者	当初契約金額 (単位：円)	落札率	発注課	入札 参加 者数
C-2	農第1号	五頭山麓 線法対 策工事	土木	(株)坂 詰組	23,112,000	96.57%	農林課	10
<p>抽出理由</p> <p>入札結果を見ると、最低価格者と最高価格者の差が75万円程であり、その他各社も数十万円の差となっているところを見ると、適正な競争原理が働いているのか疑問に思う。</p> <p>「質問・意見」</p> <p>1 入札通知から入札まで10日間と短いように感じるが、Aの一般競争入札の場合はもっと長い。違いは何か。</p>					<p>「回答」</p> <p>A-7抽出案件にてご説明したとおり、応札額については、各社の積算結果であり、発注者として判断はできない。</p> <p>僅差について、土木工事の一般的な考え方であるが、土木工事は積算基準や単価が定められており、受注者は発注者に近い金額を積算することが可能な状況である。その上で、落札するためには、自らの経営状況や労働者の空き具合、手持ち工事の有無などを総合的に判断し、入札金額を定めているものと推測する。</p> <p>1 Aの場合は、一般競争入札で入札に参加するかどうかを思料する期間も含まれています。</p> <p>また、積算期間については、予定価格によりその期間が定められてる。</p>			

No.	工事番号	工事名	工事種別	請負業者	当初契約金額 (単位：円)	落札率	発注課	入札 参加 者数
C-27	下水 第41号	猫山処理 分区マン ホール蓋 改築工事	土木	(株) 帆 苜組	20,304,000	93.16%	下水道	12
<p>抽出理由 (佐藤委員)</p> <p>これについても契約額が高額なため抽出したが、入札結果を見ると応札額が一定の差であるように見えるがどう思うか。</p> <p>「質問・意見」</p> <p>1 指名業者が長岡市まで広げているが意図はあるのか。</p> <p>2 協会加盟業者を指名したとのことだが、数的にはどの程度いるのか。</p> <p>3 指名理由で施工実績とあるが、協会加盟業者であればよろしいか。</p>					<p>「回答」</p> <p>繰り返しになるが、今までの抽出案件でも説明したとおり、応札額については、各社の提示金額であり、結果として規則的になったものであると考える。</p> <p>なお、落札者については、阿賀野市内の業者であり、現場までの距離や諸経費等の点で優位性があったものと推察する。</p> <p>1 円形切断工法はいくつかの施工方法があり、その一つが長岡市の業者であったことから指名をした。</p> <p>2 県内では、今回の指名業者のほか佐渡市の業者が登録されている。</p> <p>3 施工実績は加味していないので、記載ミスです。</p>			